



2023 年 4 月 27 日

たてくろジオパーク

だより 第 57 号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町 5-5 タワー 1 1 1 ビル 1 階
MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/

TEL: 076-431-2089 FAX: 076-482-3204
f https://facebook.com/tatekuro

令和 5 年度 定時総会のお知らせ

令和 5 年度一般社団法人立山黒部ジオパーク協会の定時社員総会並びに講演会を入善町で開催いたします。

令和 4 年度の事業・会計報告、並びに令和 5 年度の事業・予算案について報告いたします。また、昨年より策定を進めてまいりました「立山黒部ジオパーク第 3 期基本計画」を報告いたします。ご多用とは存じますが、会員の皆様は、ご出席をお願いいたします。

日 時 令和 5 年 6 月 3 日 (土) 会 場 入善町まちなか交流施設うるおい館
総 会 14:00 ~ 14:50 入善町入膳 5232-5 TEL 0765-83-2000
講演会 15:00 ~ 16:15

令和 4 年度の総会の様子



5 月のジオパーク散歩

募集中

第 2 回 [宇奈月温泉ジオパーク散歩]

〈ジオガイドから開湯 100 周年宇奈月温泉を学ぼう〉

- ・日 時 5 月 6 日 (土) 午前 10 時 ~ 正午
- ・集合場所 黒部市宇奈月公民館
- ・見学場所 駅前広場温泉噴水、やまびこ橋、宇奈月神社 他
- ・申込期限 5 月 1 日 (月)

第 3 回 [ジオパーク散歩 in 滑川市]

〈意外と知られていない旧北陸街道の発展をひもとく！〉

- ・日 時 5 月 24 日 (水) 午前 10 時 ~ 正午
- ・集合場所 滑川市役所
- ・見学場所 松尾芭蕉「宿泊の地」記念碑、「旧宮崎酒造」や「養照寺」、「廣野家」 他
- ・申込期限 5 月 19 日 (金)

4 月 13 日に志村幸光ジオガイドの案内のもと、ジオパーク散歩 in 朝日を行いました。一行は、ヒスイテラスからヒスイ海岸で散策を行った後、鹿嶋神社に向かいました。ヒスイ海岸では、各自が波打ち際で、ヒスイの原石を探していました。参加した皆さんは、時間が経つのを忘れ夢中になって探していました。その後、鹿嶋神社に移動しました。鹿嶋神社では、宮司さんに神社の歴史や由来などをお話いただきました。見どころとしては、境内にある国の天然記念物の「宮崎鹿島樹叢 (じゅそう)」と、向拝殿の装飾彫刻です。特に、装飾彫刻は北村喜代松の最高傑作といわれています。主題は、「八岐大蛇 (やまたのおろち) 退治」、日本の神話「高天原で乱暴を働き追放されたスサノオノミコトが出雲で八岐大蛇の生贄にされるクシナダヒメを救うために、強い酒を造り八つの甕に入れて大蛇の出現を待ち、酔いつぶれて眠る大蛇を切り刻み、その尾から聖なる剣『草薙の剣』が現れた」という場面が、まわり舞台のように表現されています。



最後に、ヒスイテラスに戻り解散しました。ヒスイテラスでは、地元の方に海岸で見つけた鉱石を見てもらいました。残念ながら、ヒスイの原石は見つかりませんでしたが、石英などの鉱石を発見した参加者もいらっしゃいました。



波打ち際でヒスイを探す

5 月のジオパーク散歩はまだまだ参加者募集中です！ぜひ参加してジオやエコを楽しみましょう



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



4/13 上市町稲村露頭に解説看板設置

4月13日(木)、稲村露頭(スランプ構造)に解説看板を設置しました。この解説看板は、スランプ構造について分かりやすく図解説明したもので、秋田大学の荒戸裕之教授、地権者の英修興産有限会社、上市町の多大なるご支援をいただいて実現することができました。解説看板は、スランプ構造と解説看板を見比べながら見学したり解説を聞いたりできる位置に設置しており、様々な教育活動に活用されることが期待されます。見学は自由にできますが、落石に備えてヘルメットの着用をお願いします。また、露頭前の道路は大型トラックが多数通行するため、駐車は必ず構内にしてください。その他、見学等に関するお問い合わせは、当協会事務局へご連絡ください。



黒部市生地名水公園の看板が改修されました！

「生地あいの会」さんが県の補助を利用して生地名水公園の看板を改修されました。

この看板は、黒部市水資源対策協議会のパンフレット「名水の里くろべ水のめぐり」を活用し、荻野弘文さんがデザインしています。このパンフレット作成の際に立山黒部ジオパーク協会が協力しましたので、パンフレットには立山黒部ジオパークのロゴと「協力：立山黒部ジオパーク協会」の記載がされています。今回の看板もこの例にならい、ジオパークマークと協力の記載がされています。



ジオガイド スキルアップ研修を開催しました！

4月12日(水)にジオガイドスキルアップ研修を開催しました。「新ジオサイト『稲村のスランプ構造』- 地質現象とその理解 -」をテーマとして、金子一夫先生に講演を行っていただきました。内容は、「スランプ構造を見ることができる上市町稲村露頭の教育面・地質学的な面での価値付け」「海底地すべりがつくれた奇妙な堆積構造であること、どのようにしてスランプ構造ができたか」等、多岐に渡るものでした。



金子一夫先生

その後、「稲村露頭をどのように保護していけばよいか」や「層序対比表の見方」等、質問や議論が熱く交わされました。今後行う予定の現地研修がとても楽しみです。



真剣に聞き入る出席者



3/26 国指定特別天然記念物「根尾谷断層崖」見学会に参加して ガイド人材育成部会長 志村 幸光

日本活断層学会が主催する活断層オンラインワークショップ（オンライン5回、現地1回）があり最後に現地（岐阜県本巣市根尾樽見）見学会（2023年3月26日）に参加しました。活断層は全国に2000カ所存在しているとされ、我々の身近で聞く言葉です。比較的へ平準な地形をしている北欧や北米と比較しても日本列島は、よく言えば活断層のおかげで自然豊かで現在のような起伏にとんだ凸凹地形が出来たものと理解しています。今回は第二期、テーマである場所は「日本の地質百選」になっている「根尾谷断層」です。



根尾谷 巨大桜ウスズミサクラ

根尾谷断層は1891年（明治24）10月28日に根尾谷を震源として発生した濃尾地震で、日本の内陸部で起きた最大級の直下型地震として知られ、地質学的にも貴重で国指定の特別天然記念物になっています。

このオンラインによる学習会は、参加者が質問や疑問など持ち寄り意見交換することでそれぞれのテーマに理解を深めていく進め方でした。参加者は、主催者側である同学会の専門家や地域研究者、大学で専攻する学生、ジオパーク関係者などでした。最終回は現地根尾谷水鳥地区で上下最大6m、長さ1000m続く断層崖付近を約4時間かけて歩きました。事前にスマートフォンを使用し、国土地理院地図で場所を確認できるよう勉強会を経て、地震で亡くなった145名の法名を刻む記念碑（地理院地図で詳細が確認できる）、現在も当時の様子を知ることのできる大きな断層が見られる場所、集落内の道路は途中では曲折する場所が連なっていることなどを自分の目で確かめることができました。終わりに大地に刻まれた地震の爪痕実物がそのまま展示している根尾谷地震断層観察館内を見学し解散しました。



根尾谷断層展望台

根尾谷は、約50年前日本の三大桜「ウスズミサクラ」を見に来て以来でした。樹齢1500年とされており国天然記念物指定になっています。地震により6mもの大断層が出来たものにもかかわらず倒れなかったこの桜は、大地に深く根を張り翌年にも花を咲かせたといいます。また、地元でも大切に保護活動をされている様子がみてとれました。また、この地域には、菊花石の中でも最高のものと称される特別天然記念物「菊花石」が指定されており、地質学的にも興味が尽きないところです。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



松倉金山跡 加賀百万石を支えた黄金郷

松倉金山は、約 2000 万年前の火山活動によって形成された金鉱脈です。地中の熱水が循環する間に岩石中の微量な金が溶け出し、熱水とともに運搬されます。やがて熱水の温度が下がると、金が沈殿して金鉱脈が形成されるのです。

この金山は室町時代の応永年間（1394－1428）に発見され、15 世紀以降は椎名氏、江戸時代は前田氏が支配し、宝永年間（1704－1711）まで、約 300 年の間採掘されました。越中七かね山の一つであり、金山の最盛期（1596－1615）には鉱脈から 1 ヶ月で判金（大判）300 枚、500 枚（82.5 kg に相当）を運上と記録されています。「加賀百万石」と言われた加賀藩の財源の要は「越中七かね山」でした。富山藩分藩のときにも加賀藩は金山を手放さずにいました。金の採掘で栄えた松倉地区は、最盛期には 1000 戸もの世帯がありましたが、今は杉の森林になっています。

松倉金山跡は、立山黒部ジオパークのジオサイトに登録されています。

<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=12>

（魚津市：片貝川・早月川エリア）



■ 協会会員企業の紹介

共感を、つなげる。

「社会インフラ」×「DX」始めてます。



<編集後記>

山瀬専門員の退任に伴い、今号より編集者を交代いたしました。不慣れなため、会員の皆様にご迷惑をおかけするかもしれませんが、立山黒部ジオパークの活動と会員の皆様のご活躍をお伝えできるよう頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。 上田

<退任のご挨拶>

3 月末日をもちまして、立山黒部ジオパーク協会を退職いたしました。

在職中は、協会のイベントや事業などでたくさんお世話になりました。3 年前、協会事務局に着任したときは本当にゼロスタートでしたので、右往左往の状態でした。何も知らなかった私に、会員の皆様は、いつも優しくご指導やご助言をいただき、心より感謝しております。

私個人としてはまた会員として、立山黒部ジオパークの活動に参加したり応援したりしていければと思っています。

本当にありがとうございました。

山瀬 裕子



<着任のご挨拶>

4 月より山瀬専門員の後任として着任いたしました。

小学校の教員を長年務めてきました。教員の経験やくろべ水の少年団等に関わらせていただいたことをジオパーク協会の仕事につなげていければと思っています。今のところ、体を動かすことはあまり苦にはなりませんので、それを強みにしたいと思います。

会員のみなさまからの温かいご協力をいただきながら、たくさんの方を教えていただけることを楽しみにしています。よろしくお願いいたします。 森内 裕之

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援してくださる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会（076-431-2089）までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

